

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 久留島 克彦

彩りの空中散歩

- 審議議案 9月定例会について…………… 2～3
- 一般質問 8人の議員が質問…………… 4～9
- 議会日誌…………… 10

9月定例会

9月定例会を9月7日から16日までの10日間開催しました。
令和3年度の各会計決算認定をはじめ、条例案件3件、予算案件3件が提案されたほか、報告2件がありました。提出された議案のうち、各会計の決算認定については決算特別委員会へ、条例案件1件については総務建設常任委員会へそれぞれ付託し、慎重に審議を行いました。議案は全て原案通り可決され、請願は不採択となりました。

補正予算

(一般会計第4号)

追加補正予算額

2億2075万円

主な補正予算の内容

新型コロナウイルスワクチン接種事業費
2309万円

新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチン接種を行います。



原油価格など物価の高騰により打撃を受けている事業者に対して、支援するためのものです。

介護サービス事業者等物価高騰対策補助金	1147万円
貨物自動車運送事業者応援給付金	3300万円
農業原油価格高騰緊急支援金	250万円
農業経営収入安定化支援緊急対策事業補助金	45万円
水産業原油価格高騰緊急支援金	456万円



オートビレッジYOSHIDA

アフターコロナを見据え、経年劣化による浴槽タイル等を改修し、快適で使いやすい温泉施設にするため整備するものです。

オートビレッジYOSHIDA温泉施設改修事業費
519万円

オーリーブバス神懸線実証運行事業費
205万円

草壁港から紅雲亭までのオーリーブバス神懸線について、運休期間の代替バス実証運行のための負担金です。

運行期間は、12月11日から令和5年2月8日までの予定で、観光庁の補助を受け株式会社かんかけタクシーが事業を行い、町は事業費の2分の1を負担し、通年運行に向けた検証を行います。

公営住宅等修繕料
1000万円

公営住宅等の老朽化が進んでいることから、必要な修繕を行うためのものです。

草壁本町団地ねずみ棟浄化槽改修工事費
523万円

建築資材の高騰、施工内容の変更により工事請負費を増額するものです。

地域防災組織育成助成事業助成金
200万円

中山地区自主防災会の防災備品倉庫、発電機、折りたたみ式テント等防災備品の整備に対して助成するものです。

町指定ごみ袋製造費
192万円

物価高騰により町指定ごみ袋の製造費が上がっていることから、増額するものです。

小学校・中学校施設修繕料
157万円

- ・安田小学校 職員室電灯分電盤修繕
- ・池田小学校 昇降機用巻上機ギアオイル交換
- ・小豆島中学校 昇降機部品等取替



中山の舞台

中山農村歌舞伎舞台の大規模改修事業を実施するにあたり、中山自治会に貸し付けるものです。

中山の舞台大規模改修事業貸付金
2827万円

国内外で新規販路開拓に取り組む中小企業や商工会に対して、催事、見本市等への出店支援を行うもので、今後も申請件数の増加が見込まれるため、予算を増額するものです。

主体的に頑張る事業者販路開拓支援補助金
1200万円

条例の一部改正

小豆島町税条例の一部を改正する条例

老朽危険空き家除却後の土地に対する固定資産税を減免するにあたり、必要な改正を行うものです。

小豆島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業の取得回数の制限を緩和するとともに非常勤職員の育児休業取得要件を緩和し、育児等と仕事の両立を支援するための改正です。



財政健全化法に基づき報告

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、介護保険施設事業の資金不足比率について、全ての値において健全な状態であると報告されました。

町の収入に対する借金返済額の比率である実質公債費率が0・7ポイント改善の6・1%となりました。町役場庁舎等の再編にあたり発行した合併特例債の元金償還の開始などにより公債費のピークを迎えているため、今後適切な財政運営が求められます。

※合併特例債：合併した市町村が、新しいまちづくりに必要な事業を行うための財源として借入れができる地方債のこと。

請願

「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願

●提出者

「種子を守る会 香川」

●紹介議員

鍋谷 真由美議員

令和4年第2回定例会において総務建設常任委員会に付託され、引き続き詳細な審査を行うため継続審査となっていました。

8月25日に総務建設常任委員会を開催し、事前に香川県に質問をするなど慎重に審査を行った結果、不採択とすべきものとなりました。第3回定例会において、審査結果についての委員長報告が行われ、採決した結果、本会議においても不採択と決定されました。

総務建設常任委員会

第3回定例会において提案された条例の一部改正のうち一議案について、詳細な審査をするため、9月14日に総務建設常任委員会を開催し、審査を行いました。付託された議案は、次の通りです。

小豆島ふるさと村条例の一部を改正する条例

物価の高騰や燃料費

などの所要経費の変動等に伴い、小豆島ふるさと村の宿泊施設およびいちご農園（交流ふれあい農園）において、適正な利用者負担を求めるために、利用料金

の上限額を改定するものです。

●Q 宿泊施設の料金について、今回改定された料金が通年適用されるのか？

●A 今回改定する金額は上限額であり、通年の料金になるわけではない。GW・年末年始

などにおける料金設定を想定している。他の期間については、曜日や季節により上限額までの金額で設定される。

●Q 近隣のいちご農園の料金は？

●A 県内の他施設との比較になるが、子ども料金で1500円以上など、ふるさと村よりも高い料金が設定されている。

決算特別委員会

決算特別委員会とは、議会に提出された町の1年間の「歳入歳出決算」について、その審査をするために設置される特別委員会です。9月9日から4日間かけて慎重に審査し、次の意見を付して認定しました。

- 一、住民生活課が所管する事業について、一課で担うには事業内容が広範囲に渡りすぎていると思われる。またオリーブ課が所管するサン・オリーブ事業について、事業目的がオリーブ課の所管から乖離していると思われる。その他の事業も含め、事業の移管や組織再編について、庁舎全体で再検討されたい。

【総務課】

9月定例会 一般質問

一般質問

今期定例会の一般質問を9月7日に行い、8人が登壇しました。
一般質問とは、議員が町民の代表として町政全般にわたって、事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

かわい しげる
川井 茂 (4 P)

- ・小豆島全体の海上交通を話し合う環境を
- ・移住定住促進をどのように推進していくのか

なかがわ みつあき
中川 光秋 (5 P)

- ・町長の政治姿勢は（草壁航路再開問題）
- ・震災時の備蓄は

しおた ようすけ
塩田 洋介 (5 P)

- ・草壁高松航路再開は
- ・国の登録有形文化財および伝統的建造物群保存地区への支援は

たかお とよひろ
高尾 豊弘 (6 P)

- ・農産物を原料とする特産酒類特区を
- ・ふるさとワーキングホリデー推進事業の実施は

はだ みつる
羽田 満 (6 P)

- ・防災意識向上への取り組みは
- ・イノシシ被害の状況と対策は

なべたに まゆみ
鍋谷 真由美 (7 P)

- ・旧統一教会および関連団体との関係は
- ・ゲノム編集トマト苗は受け取らないで
- ・加齢性難聴者の補聴器購入助成を

たかはし じゅん
高橋 淳 (8 P)

- ・産業の振興を
- ・産業発展に必要な草壁高松航路を
- ・各界の人材の育成を

たに やすお
谷 康男 (9 P)

- ・草壁港の管理を県に移管すべきでは
- ・小豆島中央病院の今後は
- ・神戸市との連携協定は

■一般質問を録画配信しています。下のQRコードを読み取ると、小豆島町ホームページ内から視聴できます。(YouTubeにリンクします。)



かわい しげる 議員

小豆島全体の海上交通を

話し合う環境を

町「草壁航路再開の事業者が現れない限り、話し合いの環境づくりは考えられない」

生活を重視し、国や地方自治体の関与が必要との方向に法律が新設され、改定されてきた。草壁航路の再開を視野に小豆島全体を観光、文化、産業などあらゆる面から海上交通を話し合う環境が必要だと思いが対応は。

【答弁】草壁高松航路再開の意思を持つ航路事業者が不在である現状では、議論の場を設けたとしても再開に向けた具体的な議論が進むとは考えられない。また、新たに就航の意志を持つ事業者が現れない限り、話し合いの環境づくりができるとは考えられない。

移住定住促進をどのように

推進していくのか

町「積極的かつきめ細かな施策を展開したい」

【質問】人口が減少し、今後も少子高齢化が一段と進むと考えられる。U・I・Jターンなど移住・定住を推進していく上で、持続的な空き家を活用した取り組み

【答弁】積極的かつきめ細かな移住・定住施策を展開していきたい。また県に対して新たな補助制度の創設など、財政的支援について強く要望したい。

町長の政治姿勢は（草壁航路再開問題）

町「現時点では変わらずめどは立っていないが
引き続き協議を重ね努力する」



なかがわ みつあき 議員

けている。小嶋代表と一日も早く話し合っていたきたいが。

【答弁】小嶋代表とは機会を見て話をしたいと思うが、私が会ったからといって小嶋代表が翻意するものではない。

【質問】5月、国土交通省からの問い合わせに対し「草壁航路を指定区間として引き続きお願いした」と聞いたが事実か。

【答弁】「引き続き変更なく指定区間をお願いしたい」と回答した。

【質問】「草壁航路が指定航路であるべき」と考えるならば、可能性のある限り、あらゆる努力での取り組みが求められるが、その後はいかがか。

両備フェリー社が取った一連の行為が独占禁止法違反の可能性があると指摘を受

独禁法に触れるのではないかと指摘に対し、国交省では独禁法には触れないという返事をされたと聞いている。

所管が公正取引委員会なので、法に触れるという考えならば法廷の場で争っていただけだろうと思う。

これは経営判断の問題であり、我々経営の責任が持てない者が無理やりをお願いすることはできない。

震災時の備蓄は

町「可能であれば1週間分の備蓄をお願いしたい」

【質問】南海トラフ地震発生の可能性が高まってきている中で、町の備蓄は万全か。

【答弁】公的な備蓄は町民全員を賄うものではないため、住民の皆様には日ごろから使っている食糧や日用品を少

し多めに買い置きするローリングストックなどの方法で、家庭での備蓄をお願いしたい。離島ということを考えれば、可能であれば1週間分の備蓄をお願いしたい。

草壁高松航路再開は

町「参入の意向を示す業者はなく、協議の場を設けることも直接運航や赤字補てんもできない状況である」



しお 田 洋介 議員

べてをお答えいただきたい。

【答弁】6月議会における施政方針や一般質問で申しあげた通り、四国運輸局長、四国フェリーグループ代表者、両備グループ代表者と

【質問】草壁高松航路の再開について、これまで講じられた対策す

国の登録有形文化財および伝統的建造物群保存地区への支援は

町「特別交付税が交付されているが、登録有形文化財は補助対象としていない。伝建は来年度改めて取り組む予定」

【質問】町内に登録有形文化財は94件あり、特別交付税が交付されている。その額がいく

らで登録有形文化財にどのようになかされて

いるのか。

【答弁】特別交付税は令和3年度で2045万円。使い道は特になく、

一般財源として文化財保護事業などに活用している。

文化財への助成については登録有形文化財は補助対象となっていないが、補助制度の拡充は今後検討すべき課題であると考えている。

伝統的建造物群保存地区については、景観

面談し、航路就航の意思がないことを確認した。また、草壁、西村地区の総代とも面談し、町老人クラブ連合会にも現状を説明した。

来年度に文化庁調査官を招へいし、現地確認や助言を得たいと考えている。さらには景観保全の制度についても調査研究を進めていきたい。

一般質問



たか お 高尾 議員

農産物を原料とする 特産酒類特区を

町「特区申請の手続を進めている」

〔質問〕 農業の生産振興や食による地域経済の活性化、地域資源を生かした特産酒類特区を活用してはどうか。

規制が緩和され、新規参入による地域活性化や産業、観光振興等が期待される。特区申請の手続を進めている。
また、住民からの問い合わせは企画財政課が担当する。

〔答弁〕 地域ブランドを生かした製品の販売により、農産物の利用拡大を図ることができる。



ふるさとワーキングホリデー

推進事業の実施は

町「幅広い業種で実施に向けて検討する」

〔質問〕 本事業は、すでに受け入れている事業者や新たに受け入れたい事業者の支援ができ、雇用機会の創出や交流による地域活性化につながると考える。実施してはどうか。

〔答弁〕 都市部の若者などが一定期間滞在し、働いて収入を得ながら地域との関わりを提供する取り組みで、募集に要する経費や滞在経費など、特別交付税が措置される。

人、情報の流れを新たに創出することや地域と関わる機会を提供することも重要である。調査研究、情報収集し、幅広い業種で実施に向けて検討する。



は た みつる 羽田 議員

防災意識向上への 取り組みは

町「各地域への普及啓発活動を行う」

普及啓発活動を行う」

〔質問〕 全国で大きな自然災害が起きており、南海トラフ地震発生の切迫性も高まっている。

〔答弁〕 南海トラフ地震等、いっどのような災害に見舞われるかわからない。
施設管理や防災意識の向上等あらゆる危機管理事案に対して、情報の早期収集と共有化、対応策の一元化を図るため、令和2年に総務課内に危機管理室を設置した。
また、災害時に迅速な対応ができるよう職

町では、昭和49年、51年に台風による水害で多くの人命が失われ、毎年防災訓練を実施してきた。災害時の施設管理、対策を再確認するとともに防災意識向上にどのように取り組んでいくのか。

各地域への普及啓発活動を行う等、防災意識の向上により一層取り組み、防災訓練等のあり方を再度検討したい。



イノシシ被害の状況と対策は

町「今後も対策を強化し、被害軽減に努めたい」

〔質問〕 イノシシ被害の状況と対策、補助金等はどうなっているのか。

〔答弁〕 鳥獣被害対策は、捕獲、防護、環境

づくりの3点について対策強化を図っている。イノシシの捕獲は令和元年度をピークに減少傾向にあり、長年の被害対策の成果が表れている。侵入防止柵資材費補助金等を活用していただき、今後も対策を強化し、被害軽減に努めたい。

旧統一教会および 関連団体との関係は

町「ピースロードに後援したが
今後は関わらない」



なべたに まゆみ 議員
鍋谷 真由美 議員

「ド」への後援を決めた経緯は。今後、旧統一教会・関連団体とは一切関与しないことを表明すべきでは。

【質問】世界平和統一

家庭連合（以下、旧統一教会）は、靈感商法や集団結婚、高額献金強要など消費者被害を拡大している反社会的集団だ。その関連団体であるUPF（天宙平和連合）が開催するサイクリングイベント「ピースロード」の実行委員会に地元選出の国会議員らが参加し、自治体が後援した。

旧統一教会は反社会的集団だという認識はあるか。「ピースロー

【答弁】宗教法人世界平和統一家庭連合が、反社会的集団かどうかは、意味するところが明らかでなく答えられない。
5月13日に、ピースロード県実行委員会事務局が来庁し、後援依頼があり承諾、6月30日に表敬訪問を受けた。その後、後援取下げ申出があり、取消した。当初は旧統一教会の関連団体との認識はなかった。今後は関わらない。

ゲノム編集トマト苗は 受け取らないで

町「受け取ることは
考えていない」

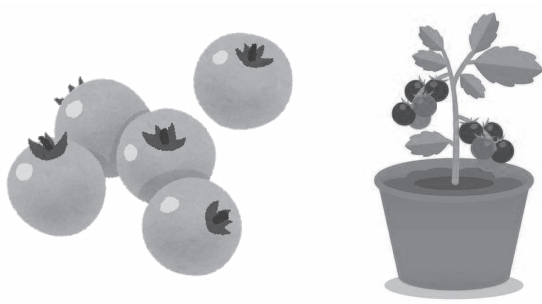
【質問】酵素を用いて

特定の場所を切断し、DNAに変化を起こすゲノム編集技術は、厚生労働省に届け出を出しただけで流通でき、表示義務もない。パイオニアエコサイエンス（株）は、ゲノム編集トマトの苗を小学校などに無償配布する計画を発表した。

安全性や環境に与える影響調査が不十分で、配布されれば、児童は関わりが強制される。学校などがゲノム編集トマト苗を受け取らないように周知すべきと思うが見解は。

【答弁】今後仮にその

ような話があった場合には、現時点での情報不足や安全性を心配する保護者がいることから、受け取ることは考えていない。



加齢性難聴者の 補聴器購入助成を

町「実態把握などをとに
総合的に判断したい」

【質問】加齢性難聴は、

うつや認知症の危険因子になることも指摘され、早期の介入予防や補聴器によるリハビリを必要としている。しかし、現状は補聴器が高額などから補聴器をつける難聴者は少ない。

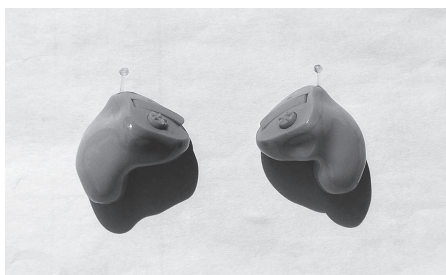
独自補助を実施する自治体も増えている。町独自でも実施に向けて、調査、研究や検討すべきではないか。

【答弁】難聴による認

知症リスク情報の発信に努める。75歳以上対象の基本チェックリストの設問に、耳の聞こえと補聴器使用の項目を追加した。介護予防・

日常生活圏域ニーズ調査に併せ、聴覚障害に特化した調査の実施を検討するなど実態把握を行い、その結果を踏まえ国や県にも要望したい。

国、県や他市町の動向を注視し、優先課題や財政状況などを総合的に勘案し、実施について判断したい。



補聴器

産業の振興を

町「頑張る業者を応援する。ブランド化は必要」



たかはし じゅん 議員

【質問】町の発展の基盤は産業の振興。町長は「島の外に打って出る新たな販路開拓や商談機会の創出が重要であることから、新たに主体的に頑張る事業者販売開拓支援事業を立ち上げ、催事や見本市への出展を支援していく」と述べたが、その施策では今までの継続であり、島を支える産業の再構築には不十分ではないか。

既存の産業の活性化、新しい産業の創造、島外企業の誘致等、島の産業を活性化させ、小豆島町の人口を増やし、活力のある町にするための対策が必要だと思

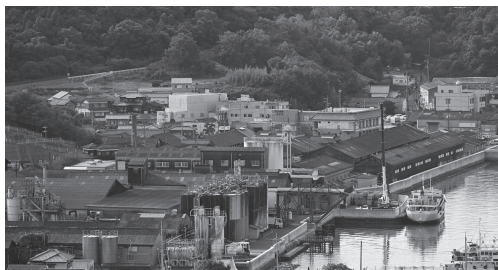
うが、町長の見解は。

また、小豆島のブランド化だが、島の企業が単独で動いていたのでは大手ナショナルブランドには太刀打ち出来ない。島が一つになって小豆島をブランド化し、オール小豆島で戦わない限り、島の産業の未来や小豆島の発展は厳しいのではないかと思うが、町長の見解は。

【答弁】地場産業の活性化に向けた第一弾の施策として、主体的に頑張る業者の応援になり、雇用の拡大、ひいては地場産業の活性化が期待できる対策の一つであると考えている。小豆島の発展を実現するために、小豆島のブランド化がぜひとも必要との認識である。



地場産業の案内板



地場産業の工場群

産業発展に必要な草壁高松航路を

町「採算性の悪い草壁高松航路への参入は困難」

【質問】草壁高松航路の再開は産業の活性化と切り離せない問題。一つの航路を無くすことは島の産業の発展の芽を摘む大問題。

町のトップである町長の仕事は、町の発展に尽くすこと、町民本位の行政を行うことである。

町長の本来のあるべき使命に立ち戻り、航路再開に全力を尽くしていたいただきたい。町長の見解は。

【答弁】小豆島の産業振興にとって航路が重要な役割を担う事は十分承知している。航路事業も採算性が求められる産業活動であり、事業者として収益が得られない航路事業への参入は困難であると考えている。

高松港から徒歩で来島される観光客のアクセスについては、池田高松航路の利便性を高めることで対応する。

各界の人材の育成を

町「若手人材の育成が大切」

【質問】何をするにも人材が必要。小豆島の現状を見ると、有能な人材、リーダーの登場が求められている。人材を育成することが町の発展にとって必要だと思

【答弁】小豆島の発展と持続可能な町づくりにあたっては、若手人材の育成が何よりも大切。今後においても、人材の育成に向けて、人的、財政的に支援を実施し、若者が夢を

持ってチャレンジできる町、活躍できる町づくりを推進していきたい。



草壁港遠景

草壁港の管理を

県に移管すべきでは

町「他の用途を含めた計画も検討し、要望を重ねていく」



議員 康男 谷

【質問】香川県土木部港湾課のホームページには「草壁港を含む内海港は香川県が管理する港湾である」と記載されている。にもかかわらず、フェリー岸壁および棧橋周辺は小豆島町管理施設になっている。

今後航路の再開を待つにしても、町管理で港を維持していくには多くの財政支出を伴うと思われるが、町管理の部分を県に移管すべきでは。

【答弁】草壁港の県管理への移管については香川県土木部長に対して、県管理に関する要望を行っており、土木部長からは、フェリーが発着する港というだけではなく、何か違った用途も含めた計画を出すよう言われている。今後それも含め検討しながら、要望を重ねていく。



上空から見た草壁港周辺

小豆島中央病院の今後は

町「経営への参画に

についても香川県知事に要望していきたい」

【質問】小豆島中央病院の設立にあたり、香川県がどのような形で関与されたのか。

【答弁】今後の小豆島中央病院の経営次第で小豆島町・土庄町の財政には非常に大きな負担になるのでは。

香川県にも経営に参画してもらえないのか。

【答弁】小豆島中央病院については、内海病院と土庄中央病院の医師数が減少し、必要な医療提供体制を継続することが困難となったことから、香川県や香川県医師会、香川大学等、多くの関係機関の助言をいただき設立された。

全国的医療圏の中で医師不足は小豆医療圏域が実質最下位である。そういう危機的な状況にあることは、常々香川大学学長にも訴えている。今後も香川県・香川大学に訴えながら、経営への参画についても香川県知事に要望していきたい。



小豆島中央病院

神戸市との連携協定は

町「さらなる連携強化を

図るため、直ちに包括連携協定の締結を進める」

【質問】3年程前になるが、神戸市が震災25周年を機に、災害時におけるジャンボフェリーを使った広域避難訓練を実施した。そのとき神戸市職員や国土交通省の職員と話をする中で広域連携協定を結んではという話があった。

時間がたっているが、連携についての考えは。

【答弁】3年程前になるが、神戸市が震災25周年を機に、災害時におけるジャンボフェリーを使った広域避難訓練を実施した。そのとき神戸市職員や国土交通省の職員と話をする中で広域連携協定を結んではという話があった。

時間はたっているが、連携についての考えは。直ちに包括連携協定の締結を進める。



実証訓練

香川県広報発行町議会 連絡協議会研修会

8月10日、香川県広報発行町議会連絡協議会が主催する研修会に参加し、文章コンサルタントである前田安正氏の「多様化社会での情報発信」と題した講演を拝聴しました。

特徴や役割、立場を固定的にとらえた表現は、文章でもイラストでもしてはいけないこと。読まれて初めて文章として成立するため、誰に向けた情報なのか、対象を常に意識しなければならぬということなどを学びました。



宮城県七ヶ浜町議会・ 福井県福井市議会 行政視察の受け入れ

10月3日に宮城県七ヶ浜町議会が、小豆島町の子育て支援施策の現状や地場産業の育成について、10月7日に福井県福井市議会が小豆島町のオリーブ関連事業についての行政視察のため、来訪されました。

小豆島町の各担当課が産後ケア事業、小豆島町オリーブトッパンプロジェクト等の取り組みについて説明を行いました。また、オリーブ公園の視察も行い、現状や今後の課題についても説明しました。



議会日誌

7月～9月までの主な
議会活動についてお知
らせします。

7 月

12日 広報編集特別委員会
14日 広報編集特別委員会
22日 全国離島振興市町村議会議長会
総会・研修会
26日 香川県後期高齢者医療広域連合臨時議会
29日 香川県広報発行町議会連絡協議会
30日 小豆郡町議会議長会研修会

8 月

3日 新人議員勉強会
10日 香川県広報発行町議会連絡協議会
定例会・研修会
24日 香川県村議会議長会定例会
25日 総務建設常任委員会
26日 小豆郡町議会議長会
31日 議会運営委員会

9 月

7日 第3回定例会（1日目）
広報編集特別委員会
9日 決算特別委員会
12日 決算特別委員会
13日 決算特別委員会
14日 決算特別委員会
16日 総務建設常任委員会
第3回定例会（2日目）
26日 小豆島中央病院企業団議会定例会
27日 小豆地区広域行政事務組合議会定例会

編集後記

実りの秋、紅葉の秋。
小豆島が一番美しく輝く
季節は、魅力でいっぱい
です。

▼日本三大渓谷美「寒霞
溪」。ロープウェイから眺
める紅葉と、内海湾のコ
ントラストは絶景です。

▼日本棚田百選「中山千
枚田」。稲が黄金色に輝
き、一層美しい季節が広
がるこの時期に訪れたい
ものです。

▼食欲の秋、小豆島近海
で獲れる秋が旬の海鮮
を満喫するのもオススメ
です。

▼秋に収穫の最盛期を迎
えるオリーブ。この時期
にしか食べられない貴重
な小豆島のソウルフード
「新漬けオリーブ」も
是非ご賞味ください。

風光明媚な景色が広
がる「私たち」の小豆島。
慣れ過ぎて忘れがちで
すが、この「自然の贅沢」
を今秋は思う存分、味
わってみてはいかがでしょ
うか。

中川 光秋 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL (0879) 82-7060 FAX (0879) 82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp